

令和8年2月17日

和東町長 馬場 正実 様

和東町総合計画審議会
会長 藤井 孝 夫



和東町第5次総合計画後期基本計画及び第3期まち・ひと・しごと
創生総合戦略案について(答申)

令和7年6月10日付け7まち第61号をもって諮問のあった和東町第5次総合計画後期基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、和東町総合計画審議会設置条例第3条の規定に基づき慎重な審議を重ねた結果、別冊のとおり答申します。

なお、計画を推進するうえで、下記の点に十分に配慮されることを要望します。

記

- 1 将来像「和の郷 知の郷 茶源郷 和東」の実現に向け、住民一人ひとりが主体的にまちづくりに参画できる仕組みを構築すること。また、関係人口の創出・拡大を視野に、町外の人々が学びや体験を通じて本町の価値を享受できる「郷づくり」に邁進されたい。
- 2 伝統ある茶の歴史・文化を次世代へ継承するため、幼少期からのふるさと教育を強化し、郷土愛を育むこと。あわせて、本町の主幹産業である茶業の振興を図り、各地域が持つ固有の景観や特色を活かした「価値を生み出す茶源郷」づくりに努められたい。
- 3 鷲峰山トンネルの開通を、本町の構造的変革のチャンスと捉え、交通流動の変化を確実に経済活性化へ繋げること。「まちづくりは人づくり」の理念のもと、住民、事業者、関係団体、さらには近隣自治体との官民連携・広域連携体制を構築し、「持続可能な茶源郷」を創造されたい。
- 4 和東町健康福祉交流センターを町の象徴的拠点と位置づけ、単なる福祉サービスの提供に留めず、世代や地域を超えた交流・文化創出の場として機能を最大限に発揮させること。誰もが孤立することなく、心の拠り所と実感できる「共生社会」の実現に注力されたい。
- 5 人口減少に歯止めをかけるべく、「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を本計画のエンジンと位置づけ、実効性の高い施策を展開すること。特に、社会変容に伴う移住・定住ニーズや働き方の多様化を的確に捉え、「選ばれる茶源郷」としての新たな価値を創出されたい。
- 6 計画の確実な履行のため、各施策の具体化を迅速に進めること。進捗や成果を住民へ可視化し、対話を通じて意見を収集し地域づくりに繋げるなど、現場感覚とスピード感を持った行財政運営を強く求めたい。